



**三重県の国道23号と
中勢バイパスの調査**

遺伝子組換え食品を考える中部の会

三重県四日市市『松泉町』～松阪市の製油工場(国道23号経由)と
 中勢バイパス:壻野新屋庄ランプ～鈴鹿市野町西

2021/04/11



『松泉町』

A
班

『白子町』

B
班

『垂水』

C
班

『小舟江町北』

↓
製油会社

↓
中勢バイパス

昨年春につづき、遺伝子組換えナタネ
 抜取隊を中止

遺伝子組換え食品を考える中部の会
 だけで調査を行った

● 調査方法 :

- ・ A～C班、各3名ずつ。計9名
- ・ 走行する車中から目視で確認
- ・ 特に目立つ場所で調査抜取り
- ・ 四日市市なやプラザで検査

津市『藤方北』交差点付近



遺伝子組換えナタネ自主調査 in 三重

2021/4/11

四日市市『松泉町』～松阪市『小舟江北』～中勢バイパス（北上）

班	参加人数	採取区間	セイヨウナタネ			検査結果		カラシナ/ナズナ			検査結果		備考
			歩道	分離帯	検体	RR+	LL+	歩道	分離帯	検体	RR+	LL+	
A	3	四日市市『松泉町』～鈴鹿市『白子町』	3	125	20	8	7	0	0	0	0	0	
B	3	鈴鹿市『白子町』～津市『垂水』	40	37	9	2	3	3	0	3	0	0	
C	3	鈴鹿市『垂水』～松阪市『小舟江北』～中勢バイパス	15	71	20	6	10	0	0	0	0	0	
計	9		58	233	49	16	20	3	0	3	0	0	
			計	291		計	36	計	3		計	0	
						44.4%	55.6%				0.0%	0.0%	
			検体総計	52		73.5%					0.0%		

RR：ラウンドアップ耐性GMナタネ

LL：バスタ耐性GMナタネ

採取区間の『』は交差点名を示す

セイヨウナタネ採取総数： 291本

うち検体数： 49本

遺伝子組換え陽性

：ラウンドアップ耐性GM 16本

：バスタ耐性GM 20本

陽性率： 73%

採取本数について

走行する車中からの、目視で目立つナタネを採取するため、採取本数は実際の自生本数とは一致しない

国道23号のセイヨウナタネ自生状況：

- ・大きな自生拡大は見られなかった



四日市港に2018年設置された エアーシャワーの効果：

- ・効果が得られているのかもしれない
今後の動向をみたいところ

中勢バイパスの自生状況：

- ・新たなこぼれ落ちによる個体の自生は確認されなかった
- ・関連会社による、中勢バイパス利用禁止の効果がみられる

雑種ナタネ調査

- 三重県四日市市『松泉町』～松阪市の製油工場(国道23号経由)と
中勢バイパス:嬉野新屋庄ランプ～鈴鹿市野町西

2021/07/04



調査経路と方法は
前回4/11とほとんど同じ

A
班

B
班

『垂水』
C
班

『小舟江町北』
↓
製油会社
↓
中勢バイパス

四日市市『松泉町』～松阪市『小舟江北』～中勢バイパス(北上)

班	参加人数	採取区間	セイヨウナタネ			検査結果		雑種			検査結果		備考
			歩道	分離帯	検体	RR+	LL+	歩道	分離帯	検体	RR+	LL+	
A	3	四日市市『松泉町』～鈴鹿市『白子町』	10	17	10	0	7	0	2	2	0	1	
B	3	鈴鹿市『白子町』～津市『垂水』	0	5	5	1	3	0	4	4	1	2	
C	3	鈴鹿市『垂水』～松阪市『小舟江北』～中勢バイパス	10	0	10	2	7	0	0	0			
計	9		20	22	25	3	17	0	6	6	1	3	
			計	42		計	20	計	6		計	4	
						12.0%	68.0%				16.7%	50.0%	
						80.0%					66.7%		

RR: ラウンドアップ耐性GMナタネ

LL: バスタ耐性GMナタネ

採取区間の『』は交差点名を示す

検体総数: 31本

GM確率: 77.4%

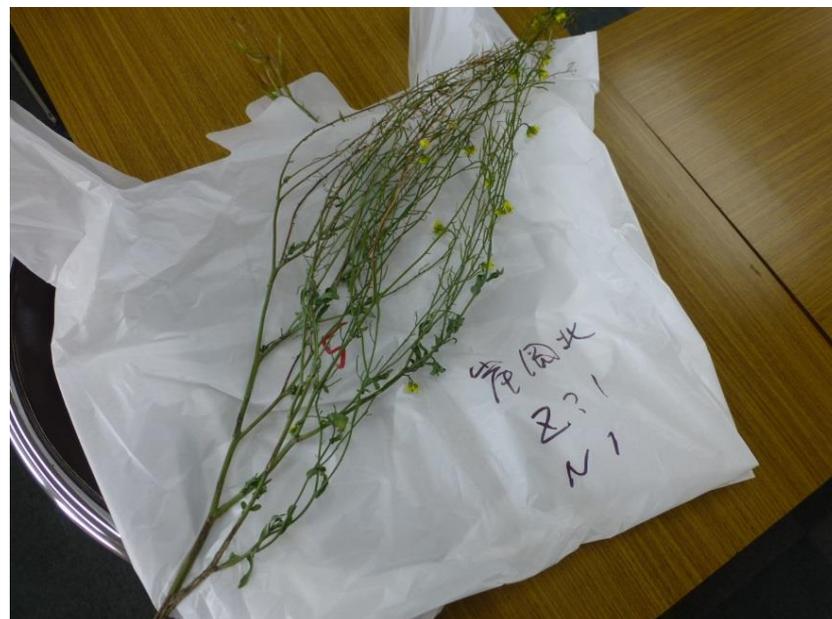
RR確率: 12.9%

LL確率: 64.5%

この時期、雑種ナタネが多く確認される

春交雑したナタネ種子がこの時期に成長開花?

ハタザオガラシ、イヌガラシ、イヌカキネガラシなどのアブラナ科雑草との交雑種?

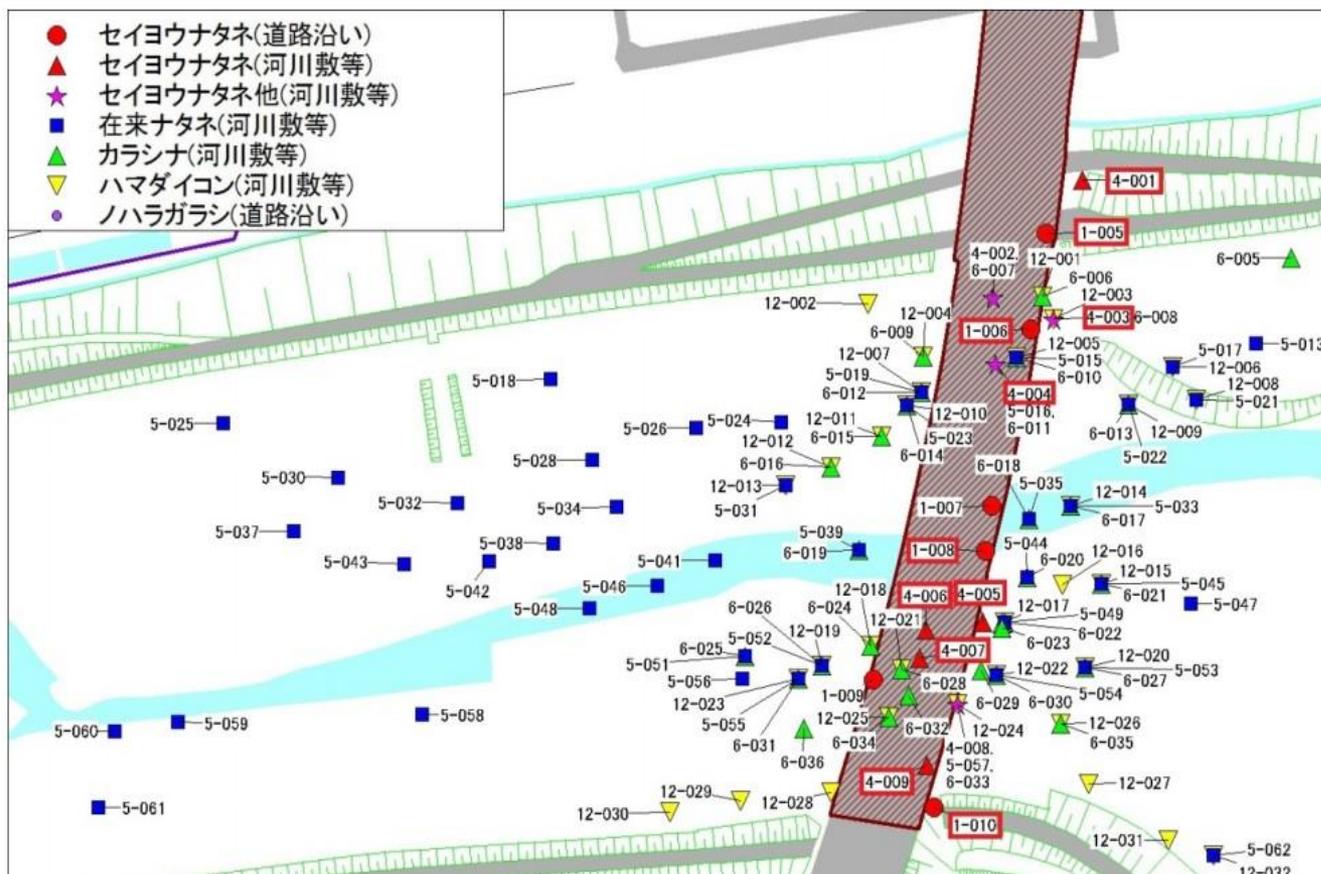


●環境省（バイオセーフティクリアリングハウス）
による遺伝子組換え生物による影響監視調査
と

●農林水産省による
遺伝子組換え植物実態調査
について

環境省によるナタネ調査

- いずれの年度も、内部川、鈴鹿川、雲出川の3河川敷にこだわった調査にとどまっている
- 3河川から数百m以内の範囲しか調査していない



「3 河川敷周辺」について

- 狭いエリアに固執
- 大雨などによる河川の増水などで
河川敷の状況はめまぐるしく変化してしまう
- 環境省の調査エリア以外では
世代交代、多くの種類の雑種などが確認されている

- 毎年、形式的な調査報告ばかり
- 現実的な調査とは言えない
- 最新の調査 2019年（古い）

農水省によるナタネ調査

●陸揚げ地点から5 kmの範囲



四日市港周辺は、関連企業により、
もっとも重点的にセイヨウナタネの駆
除が行なわれている区域

農水省の調査

「セイヨウナタネの荷揚地点から5 kmの範囲」について

このエリアは関連企業により、もっとも重点的に
セイヨウナタネの駆除作業が行なわれているため、
世代交代や自生拡大が防がれている



調査の意味が無い

調査結果は参考にはならない

調査が現実的ではない

2021/7/1

農林水産省

会見・報道・広報 政策情報 統計情報 申請・お問い合わせ 農林水産省について

ホーム > 会見・報道・広報 > 報道発表資料 > 「平成30年度遺伝子組換え植物実態調査」の結果について

プレスリリース

「平成30年度遺伝子組換え植物実態調査」の結果について

ツイート 印刷

令和2年9月7日
農林水産省

農林水産省は、平成18年度以降、セイヨウナタネやダイズの輸入港の周辺地域において、遺伝子組換えセイヨウナタネや遺伝子組換えダイズの生育や、その近縁種との交雑の有無を調査しています。

平成30年度の調査では、これまでの調査結果と同様、主に運搬時にこぼれ落ちた種子に由来すると考えられる遺伝子組換えセイヨウナタネ及び遺伝子組換えダイズが生育していましたが、組み換えられた遺伝子が交雑可能な近縁種へ拡大したり、生育範囲が拡大したりする状況を示していませんでした。この調査結果は、セイヨウナタネ及び遺伝子組換えダイズが生物多様性に影響するおそれはないと考えられます。

雑種ナタネと

セイヨウナタネの見分け方

雑種ナタネ出張講座をしています

お問い合わせ

遺伝子組換え食品を考える中部の会

事務局：食と環境の未来ネット

〒461-0004

名古屋市東区葵1-14-3

TEL：052-937-4817

E-mail：sk_mirainet@yahoo.co.jp